

Kanagawa Arts Foundation
Annual Report

2021

公益財団法人神奈川芸術文化財団
2021年度 年次報告書



ごあいさつ



たまむらかずみ
玉村和己

公益財団法人
神奈川芸術文化財団
理事長

日頃より、神奈川芸術文化財団にご支援を賜り心より御礼申し上げます。

先行きが見えなかった新型コロナウイルス感染症ですが、2021年度は少しずつ私どもの本来の活動を取り戻せるようになって参りました。止むなく中止にせざるを得なかった公演や引き続き配信での実施に切り替えた事業もございましたが、厳しい時こそ力を発揮するべき時と職員一同で懸命に取り組み、結果多くの方々にご来場くださいました。

このような困難な状況の中で皆様から頂戴しました尊いご寄付・ご支援は芸術文化事業に大切に充当させていただきました。あたたかいご支援のおかげで充実した事業を実施できましたことに改めて厚く御礼申し上げます。2022年度も、より一層多くの方々喜んでいただける事業を実施して参る所存です。

今後とも弊財団へご支援ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

神奈川芸術文化財団について・2021年度の活動

【理念】

私たちは、その想像力と創造性を活用し、芸術文化の価値を高めます。

私たちは、芸術文化の力で、地域に生きる人々の心を豊かにし、幸福な社会の実現に貢献します。

【4つのミッション】

●創造に挑む ●感動を分かち合う ●つねに考える ●未来につなぐ

1993年に設立した当財団は、芸術文化の創造と普及を県立文化施設(神奈川県民ホール・KAAT神奈川芸術劇場・神奈川県立音楽堂)の運営と一体的に行うことにより、身近で質の高い芸術鑑賞の機会を提供するとともに、神奈川から新たな芸術文化を創造・発信することを目的に活動を行ってまいりました。

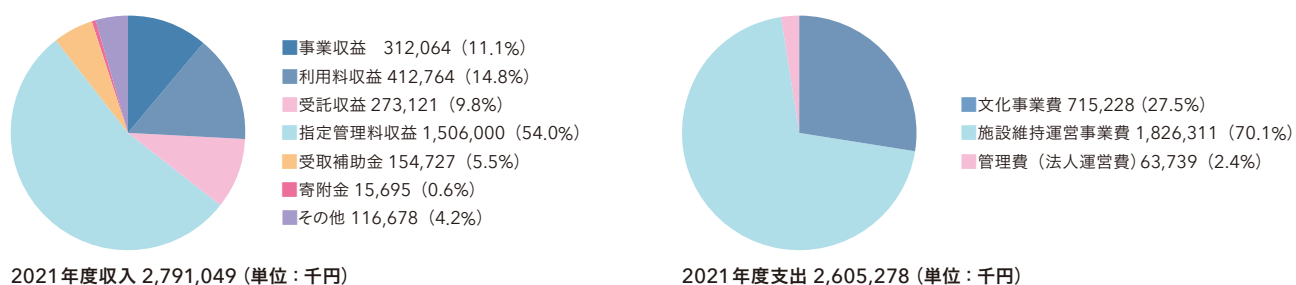
2019年には、私たちが今後も継続して芸術文化の創造と振興に更なる力を発揮していくために、めざすべき姿を描き定め、上記のように「理念」と「ミッション」を定めました。

このミッションに基づき2021年度は49事業186演目(企画)488公演(回)の自主事業(主催・共催・提携公演)を実施し、3館の合計で146,301名もの方にご来場・ご参加いただきました。さらに2021年度のトピックとしては「社会連携ポータル部門」を立ち上げ、これまで3館でそれぞれ取り組んできた専門人材育成、学校教育へのアプローチ等を一つの部署に集約いたしました。今後はさらにこの取り組みを推進し、芸術文化を通して社会課題の解決にも取り組んでまいります。

【2021年度ご支援の実績】

法人賛助会員38社／個人賛助会員15名／永年個人賛助会員1名／個別事業への協賛3社・1名／一般寄付1名
その他、チケット払戻時における寄付、オンライン小口寄付、など数々のご支援をいただきました。

【2021年度収支内訳】



いちやなぎ とし
一柳 慧

公益財団法人神奈川芸術文化財団
芸術総監督

2021年度、みなさまからいただきましたご支援に対し、心より御礼申し上げます。

私はこれまで、自由な発想、開かれた精神で、既存のジャンルや概念を超えた芸術表現の可能性を拓いていくことをめざして参りました。コロナ禍の大波に世界中が覆われ、更に戦禍までも加わり、社会が急速に変貌しつつある中、その思いはますます強くなっております。それは、新たな創作に挑む中から生まれる鮮烈で力溢れる「芸術の力」が、時代を変貌させる糸口となり、その先にある未来への希望の光となると信じるからです。私は多くの方々に、この「芸術の力」をリアルにご体感いただきたいと願っております。

こうした思いを胸に、2021年度の県民ホール及び県立音楽堂の各事業を実施致しました。

両館とも、従来親しまれてきた企画に新風を吹き込むこと



ながつかけいし
長塚圭史

KAAT 神奈川芸術劇場
芸術監督

いつも多大なるご支援ご協力誠にありがとうございます。

神奈川県に、県立の公共劇場があるということをより鮮明にし、その活動内容がもっと皆様に届くようにと、劇場を「ひらく」と掲げ、2年目を迎えました。KAATは毎年数多くの主催公演を実施している国内屈指の劇場です。またどの作品も最前線で活躍するアーティストの方々の手によって創られています。現代美術作家によるインスタレーションKAAT EXHIBITIONは開催のたび美術界から熱視線を浴び、パフォーマンスとジャンルを超えたコラボレーションも続々と実現しています。2021年度からは、神奈川県民の皆様 KAAT をより楽しく知っていただくとう県内の各劇場を巡る、KAATカナガワ・ツアー・プロジェクトを始動。現代の神奈川県に『西遊記』の三蔵法師と孫悟空の一行が紛れ込むという荒唐無稽の軽演劇でしたが、地域に根ざした物語は各地で好評を博しました。

そしてカイハツという新事業。直接上演に結びつかなくても、アーティストがアイデアを育て、実験する場を提供する、人材育成であり出会いの場です。手探りながらも、国内外より参

はもちろんのこと、芸術創造の最前線を意識的に取り上げた新企画を立ち上げました。

また、神奈川県全体での芸術文化の振興のため、私どもの活動の場を県域へと広げていく取り組みをスタートしました。県民ホールでは、次代を担う子どもたちがご家族と共に、芸術文化に身近に触れられるよう、子ども向けオペラの県内巡回を開始し、音楽堂では、教育現場での音楽授業がより豊かになることを願って小中学校の先生方を対象にした新たな企画に着手しました。取り組みの一つ一つは、微かな波立ちに過ぎませんが、各公演・企画・展覧会が皆様の心に新たな波を起こし、それが現代の閉塞感や絶望を突破するための小さなきっかけとなり、いつしか大きな変化につながっていくことを、願ってやみません。

引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

加したアーティストから大きな反響をいただいています。新しい創造の種が育まれるよう、カイハツの輪も広げていきたいと考えています。更に、新旧問わず、時代に響く戯曲を発見、発掘するための戯曲カイハツも進めております。

こうした劇場の豊かな活動を、ご支援くださる皆様に、より深く知っていただけるよう取り組んでいきたい。また皆様は、どのような期待を抱いてご支援して下さっているのか。劇場そのもの、あるいは個別の事業に対してなのか。そのお力添えをどう役立てていくのかを明らかにしていきたいと考えております。

私共が運営する3館の運営は、チケット収入だけではなく、県からの指定管理料、数々の助成金、そして皆様からのご支援によって成り立っています。県民が世界に誇れる劇場にするために、舞台芸術が身近にある未来を共に築いていくために、劇場を支援して下さる皆様と対話する機会を増やしていき、そして更に多くの支援者の方々との出会いを重ねていきたいと願っております。

皆様と劇場でお会いすることを心より楽しみにしております。

神奈川県民ホール

開館日 — 1975年1月17日
 施設概要 — 大ホール(定員2,493人)
 小ホール(定員433人)
 ギャラリー(第1～5展示室)
 大小会議室
 住所 — 神奈川県横浜市中区山下町3-1



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11



12



13

1 オープンシアター 2021 音楽でめぐる世界の旅 ガラコンサート 撮影:青柳 聡 / 2 ミヤケマイ×華雪 ことばのかたち かたちのことば 撮影:ヤマモトジュン / 3 ファンタスティック・ガラコンサート2021 撮影:長谷川清徳 / 4 C×Baroque 大塚直哉が誘うバロックの世界 Vol.1 撮影:ヒダキトモ / 5 C×C 作曲家が作曲家を訪ねる旅 Vol.1 山本裕之×武満徹 撮影:青柳 聡 / 6 C×C 作曲家が作曲家を訪ねる旅Vol.2 川上統×サン=サーンス 撮影:平銀 平 / 7 C×Organ オルガン・コンサート・シリーズ オルガン クリスマス コンサート ～古風で不思議なクリスマス～ / 8 C×Organ オルガン・コンサート・シリーズ 中田恵子 オルガン リサイタル 撮影:ヒダキトモ / 9 オープンシアター 2021 音楽のおくりもの オルガンとカウンターテナーのハーモニー 撮影:岩田えり / 10 オープンシアター 2021 對木裕里展「手のたび ではいっておいで」 撮影:岩田えり / 11 ミヤケマイ×華雪 ことばのかたち かたちのことば 撮影:今井智己 / 12 みんなでたのしむオペラ「ヘンゼルとグレーテル」海老名公演 撮影:岩田えり / 13 子どものためのステージ見学+ワークショップ付コンサート「くるみ割り人形の世界へようこそ」

神奈川県民ホール

2021年度主催事業一覧

ミッション「創造に挑む」

C×C 作曲家が作曲家を訪ねる旅 Vol.1 山本裕之×武満徹	2021年11月6日
C×C 作曲家が作曲家を訪ねる旅 Vol.2 川上統×サン＝サーンス	2022年1月8日
ミヤケマイ×華雪 ことばのかたち かたちのことば	2021年12月20日～2022年1月29日
ミヤケマイ×華雪 ことばのかたち かたちのことば〈関連企画〉 ライブパフォーマンス	2021年12月25日

ミッション「感動を分かち合う」

オープンシアター 2021 對木裕里展「手のたび では いておいで」	2021年5月26日～6月5日
オープンシアター 2021 音楽でめぐる世界の旅 ガラコンサート	2021年5月30日
オープンシアター 2021 音楽のおくりもの オルガンとカウンターテナーのハーモニー	2021年5月30日
C×Organ オルガン・コンサート・シリーズ 中田恵子 オルガン リサイタル	2021年10月9日
C×Organ オルガン・コンサート・シリーズ オルガン クリスマス コンサート ～古風で不思議なクリスマス～	2021年12月11日
ファンタスティック・ガラコンサート2021	2021年12月29日
C×Baroque 大塚直哉が誘うバロックの世界 Vol.1	2022年3月26日
C×Organ オルガン・コンサート・シリーズ オルガン・プロムナード・コンサート vol.388 ～ vol.393	通年

〈県域巡回事業〉

みんなでのしむオペラ「ヘンゼルとグレーテル」海老名公演（海老名市文化会館）	2021年7月17日
みんなでのしむオペラ「ヘンゼルとグレーテル」横須賀公演（ヨコスカベイサイドポケット）	2021年7月24日
子どものためのワークショップ付コンサート『カルメン』～みんなのヒーロー「エスカミーリョ」を応援しよう!～（寒川町民センター）	2021年12月18日
子どものためのステージ見学+ワークショップ付コンサート「くすみ割り人形の世界へようこそ」（クアーズテック秦野カルチャーホール）	2021年12月24日

ミッション「つねに考える」

第109回 舞台芸術講座 青島広志の「もっと知りたい!創造する女性!」	2021年9月25日
舞台芸術講座 オルガン「フーガの技法」～謎と魅力～ 第1回 ～作品の概要と魅力～	2022年2月20日
舞台芸術講座 オルガン「フーガの技法」～謎と魅力～ 第2回 ～フーガとはどんなもの?～	2022年3月6日
舞台芸術講座 オルガン「フーガの技法」～謎と魅力～ 第3回 ～オルガン&チェンバロ 聴き比べ～	2022年3月21日

ミッション「未来につなぐ」

〈県民ホール人材育成事業〉

横浜バレエフェスティバル2021出演者オーディション《ファイナル》	2021年4月29日
C×Organ オルガン・コンサート・シリーズ 出演者オーディション	2021年8月25日
インターンシップ「公共ホールでの文化事業の実習」プログラム	2021年11月25日～2022年1月11日
開館50周年記念オペラシリーズ Vol.1出演者オーディション	2022年1月27日～28日
みんなでのしむオペラ「ヘンゼルとグレーテル」出演者オーディション	2022年3月13日
シリーズ「これからのインクルーシブ社会と公立文化施設の取り組み」第14・15回 情報のユニバーサルデザイン「ウェブアクセシビリティ」	2022年3月30日
東京音楽大学との連携事業 「東京音楽大学Act Project」	通年

2021年度の事業を振り返って

神奈川県民ホール 館長 眞野 純

2020年に起こった新型コロナウイルス感染症拡大は未曾有の事態でした。皆様方の暮らしと同様、私もこの2年間は大変な日々を過ごして参りました。休館や事業の変更、感染予防をはじめとした対応にあたる日々は緊張の連続でしたが、ご支援くださった皆様はじめ、ご来場、ご利用くださる方々の温かい眼差しや期待が私たちを支えて下さっています。

2021年度はその脅威がようやく緩和の兆しを見せるに伴い、当館の運営も徐々に復調して参りました。主催公演の実施、県域の公立文化施設との連携事業、教育プログラムなどを推し進めるなかで、再び神奈川から発信する芸術文化の発展に努めております。

私たちは、この期間に皆様からいただいたご厚情と学びを、必ずや未来に活かさなければならないと考えております。「過去はいつも新しく、未来はつねに懐かしい」とは写真家・森山大道氏の言葉です。私は神奈川の風土と当館の気風をこのように捉えています。当地は日本における文明開化の発信地であり、最先端の異文化を吸収しながら新たな伝統を築いてきた土地です。約半世紀前に開館した当館も、

これまで以上にこの気風に根差しながら、日本の芸術文化の未来を担う存在でありたいと思います。

古典（Classical）と同時代（Contemporary）の作曲家（Composer）を組み合わせた音楽プログラム「C×C（シー・バイ・シー）」、伝統工芸や書道などに根差しながら同時代の美術表現に挑む「ミヤケマイ×華雪 かたちのことば ことばのかたち」展などが、その具体的な表れです。一柳慧芸術総監督や沼野雄司芸術参与に指導を仰ぎながら、この間に成長した若手制作陣が中心となってプログラムを推し進めています。また、子どもから大人まであらゆる方々に思い切り神奈川県民ホールを遊んでいただく「オープンシアター」や、海老名・横須賀・寒川・秦野の公立文化施設と連携して実施した県域巡回事業にも、これまで以上に注力しております。

いよいよ3年後、2025年に神奈川県民ホールは開館50周年を迎えます。人と人が直接に出会い、喜びを分かち合う場として、その大切さとありがたさを日々、実感しております。これからも一つ一つの事業、公演にこの思いを託し、芸術文化の発展に寄与して参ります。

KAAT 神奈川芸術劇場

開館日 — 2011年1月11日
 施設概要 — ホール (約1,200席)
 大スタジオ (約220席)
 中・小スタジオ (401㎡)
 アトリエ (149㎡)
 住所 — 神奈川県横浜市中区山下町281



1



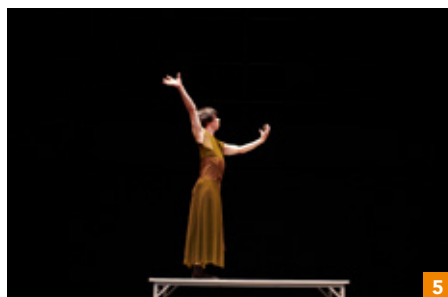
2



3



4



5



6



7



8



9



10



11



12



13



14

1 KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース 「近松心中物語」* 撮影:阿久津知宏 / 2 新ロイヤル大衆舎×KAAT 「王将」-三部作- 撮影:細野晋司 / 3 KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース 「虹む街」 撮影:田中亜紀 / 4 KAAT キッズ・プログラム 2021 「クノチ テクテク マナツノ ポウケン」 撮影:大洞博晴 / 5 KAAT DANCE SERIES 2021×Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021 「エリア50代」* 撮影:鈴木雅蔵 / 6 KAAT DANCE SERIES 2021×Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021 Noism Company Niigata×小林十市 「A JOURNEY ~記憶の中の記憶へ」* 撮影:瀬戸秀美 / 7 KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース リーディング公演 「ボルノグラフィ」 撮影:中村 彰 / 8 KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース 「未練の幽霊と怪物」 『挫波』 『敦賀』 一』 撮影:高野ユリカ / 9 KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース 「湊横濱荒狗挽歌〜新鞋、三人吉三。」* 撮影:宮川舞子 / 10 KAAT EXHIBITION 2021 「志村信裕展 | 游動」* 撮影:加藤 健 / 11 「アルトゥロ・ウイの興隆」* 撮影:田中亜紀 / 12 KAAT DANCE SERIES 2021 「Le Tambour de soie 綾の鼓」* 撮影:猪熊康夫 / 13 KAAT カナガワ・ツアー・プロジェクト 第一弾 「冒険者たち ~JOURNEY TO THE WEST~」* 撮影:宮川舞子 / 14 KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース 「ラビット・ホール」* 撮影:田中亜紀
 *印=メインシーズン(冒)プログラム

KAAT 神奈川芸術劇場

2021年度主催事業一覧

ミッション「創造に挑む」

KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース リーディング公演「ボルノグラフィ」	2021年4月16日～18日
KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース 「未練の幽霊と怪物―『挫波』『敦賀』―」	2021年6月5日～26日 ほか 豊橋、西宮公演
KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース <small>みなとよこはまあらぶるいぬのさけび しんそう さんにんきちさ</small> 「湊横濱 荒狗挽歌～新粧、三人吉三。」	2021年8月27日～9月12日
KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース 「近松心中物語」	2021年9月4日～20日 ほか 北九州、西宮、枚方、松本公演
KAAT EXHIBITION 2021「志村信裕展」游動」	2021年9月9日～10月8日
KAAT DANCE SERIES 2021×Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021 「エリア50代」	2021年9月23日～26日
KAAT DANCE SERIES 2021×Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021 Noism Company Niigata×小林十市「A JOURNEY～記憶の中の記憶へ」	2021年10月16,17日
KAAT DANCE SERIES 2021 [Le Tambour de soie 綾の鼓]	2021年12月24日～26日
KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース「ラビット・ホール」	2022年2月23日～3月6日

ミッション「感動を分かち合う」

新ロイヤル大衆舎×KAAT「王将」-三部作-	2021年5月15日～6月6日
KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース「虹む街」	2021年6月6日～20日
KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース「虹む街」〈関連企画〉稽古場見学	2021年4月24日～5月16日
KAAT キッズ・プログラム 2021「ククノチ テクテク マナツノ ポウケン」	2021年7月12日～19日
KAAT キッズ・プログラム 2021「ククノチ テクテク マナツノ ポウケン」関連企画 「いっしょにへんしん!お面づくり体験」ワークショップ	2021年7月12日～19日
KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト 第一弾「冒険者たち～JOURNEY TO THE WEST～」	2022年2月8日～16日 ほか 川崎、相模原、小田原、横須賀公演
〈KAAT フレンドシッププログラム〉	
「みんなのKAAT バックステージツアー」	計6回実施
朗読「風の琴」	2021年11月24日～12月6日
YPAM連携プログラム タイ語アニメーション「hesheit」	2021年12月17,18日
「横浜中華街 春節ランタンオブジェ展示」	2022年2月1日～16日
「タイムトラベルツアー マイナスY163」	2022年2月26,27日,3月19,20日

ミッション「つねに考える」

横浜国際舞台芸術ミーティング 2021 (YPAM2021)	2021年12月9日～19日
「カイハツ」一劇場が常に考える場、豊かな発想を生み出す場となることを目指し、クリエイションのアイデアをカイハツするプロジェクト	通年

ミッション「未来につなぐ」

「アルトゥロ・ウイの興隆」	2021年11月14日～12月3日 ほか 京都・東京公演
〈人材育成事業〉	
KAAT+YNU「芝居の大学 公開オンライン講座 第II期-移動型公共劇場はいかにして可能か」	①2022年1月25日 ②2022年2月9日
2021年度・後期 インターン	①劇場運営 2022年2月6日～23日 ②舞台技術 2022年2月7日～3月25日
KAAT 舞台技術講座 2021「舞台で働くすべての人に共通理解を」～劇場等演出空間の運用および安全に関するガイドライン～実践編	2022年3月24,25日
KAAT 舞台技術講座 2021「舞台芸術×障がい者～舞台技術者がインクルーシブシアターを考える～」配信	2022年3月31日～
「視覚言語がつくる演劇のことは」配信	2022年3月31日～

2021年度の事業を振り返って

KAAT 神奈川芸術劇場 副館長兼事業部長 堀内真人

KAAT 神奈川芸術劇場は、長塚圭史を新芸術監督に迎え、3つの方針、劇場を「ひらいて」いくこと、豊かなプログラムを提供する枠組みとしてシーズン制を設けること、また創作環境と劇場の未来を考えること、を掲げ、新たなスタートを切りました。

劇場を「ひらいて」いくことは、演劇やダンスに興味をお持ちの方だけではなく、より多くの方に、何か面白いこと、わくわくすることと出会う場、新たな気づきの場である劇場を知っていただき、そこで多様な芸術、表現に触れていただくための取り組みです。そして、街が季節に合わせ装いを変えるように、劇場も季節感をもって躍動します。春・4月から夏・8月をプレシーズンとして、舞台に触れることの少ない方々にも観劇体験を届けることを主眼としたプログラムを展開し、秋・9月から冬を経た3月をメインシーズンとして、毎年度タイトルを掲げ、そのタイトルから想起される作品をラインアップしてまいります。

2021年度のプレシーズンには、アトリウムに街ゆく人々も眼にできる特設劇場を設けて上演した「王将-三部作-」や、県内に居住する外国人を出演者に加え、また稽古場公開を実施した「虹む街」をはじめとする

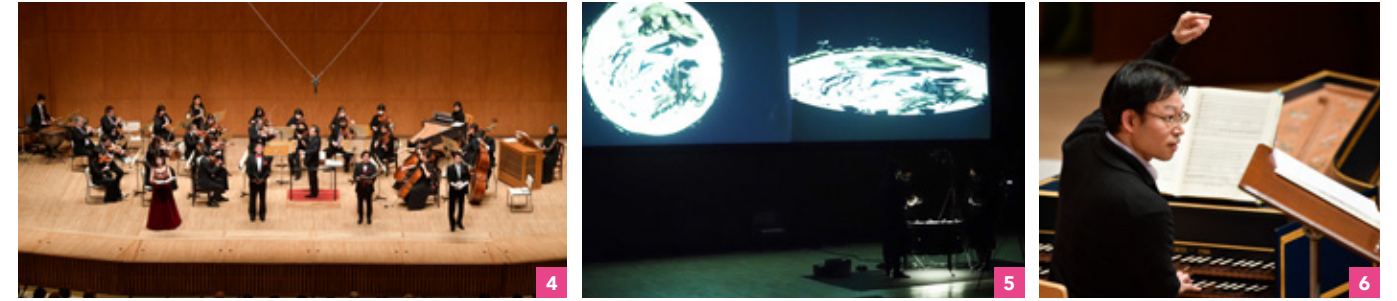
バラエティに富んだ作品が、多くの新たなお客様をお迎えました。メインシーズンでは、タイトルを「冒」と掲げ、長塚芸術監督演出の「近松心中物語」、県内ツアーを実施したカナガワ・ツアー・プロジェクト「冒険者たち～JOURNEY TO THE WEST～」など、多くのアーティストが私たちの生きる「いま」を見つめながら、新たな表現に挑み、ご好評をいただきました。

開館以来継続して実施しております、キッズプログラム、KAAT EXHIBITION、また横浜市や地域のステークホルダーとの協働によるDance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021や横浜国際舞台芸術ミーティング2021(YPAM2021)にも力を注ぎ、多様な上演や展覧会をお届け致しました。また、劇場の未来のために、豊かな発想を生み出す場、次代を担う人材育成の場となることを目指す「カイハツ」というプロジェクトをスタートしました。

KAAT 神奈川芸術劇場は、依然として続くコロナ禍、また大きく変化する社会情勢の中、安心安全を第一に考えながら、こうした取り組みを通じて、これからもより多くの皆様に多彩な芸術をお届けし、芸術文化の振興に取り組んでまいります。

神奈川県立音楽堂

開館日 — 1954年11月4日
 施設概要 — ホール(定員1,106人)
 住所 — 神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘9-2



1 音楽堂室内オペラ・プロジェクト第4弾 ブルーノ・ジネール作曲 オペラ『シャルリー〜茶色の朝』 撮影:青柳聡 / 2 音楽堂ヘリテージ・コンサート アンサンブル・アンテルコンタンポラン 撮影:青柳聡 / 3 子どもと大人の音楽堂<子ども編> 大友良英スペシャルビッグバンド初登場!みんなー!たのしい音楽始めるよ、あつまれー! 撮影:青柳聡 / 4 音楽堂クリスマス音楽会2021 特別編「アドヴェント・コンサート」 撮影:青柳聡 / 5 シリーズ「新しい視点」<紅葉坂プロジェクト Vol.1>ワーク・イン・プログレス 撮影:ヒダキトモコ / 6 音楽堂クリスマス音楽会2021 関連企画 合唱講座「メサイアの魅力」 撮影:青柳聡 / 7 子どもと大人の音楽堂<大人編> 音楽堂のピクニック / 8 音楽堂アウトリーチ 箏の演奏鑑賞と体験

2021年度主催事業一覧

ミッション「創造に挑む」

音楽堂室内オペラ・プロジェクト第4弾 ブルーノ・ジネール作曲 オペラ『シャルリー〜茶色の朝』日本初演(フランス語上演・日本語字幕付) 2021年10月30,31日

音楽堂室内オペラ・プロジェクト第4弾 ブルーノ・ジネール作曲 オペラ『シャルリー〜茶色の朝』関連企画
 ブックリーディングワークショップ「茶色の朝を迎えないために」 2021年10月2日

音楽堂室内オペラ・プロジェクト第4弾 ブルーノ・ジネール作曲 オペラ『シャルリー〜茶色の朝』関連企画
 対話型美術ワークショップ「茶色の朝」を体験しよう 2021年10月17日

シリーズ「新しい視点」<紅葉坂プロジェクト Vol.1>ワーク・イン・プログレス 2022年2月27日

ミッション「感動を分かち合う」

音楽堂ヘリテージ・コンサート アンサンブル・アンテルコンタンポラン 2021年8月29日

ミッション「未来につなぐ」

子どもと大人の音楽堂<子ども編> 大友良英スペシャルビッグバンド初登場!みんなー!たのしい音楽始めるよ、あつまれー! 2021年7月30日

音楽堂クリスマス音楽会2021 特別編「アドヴェント・コンサート」 2021年12月12日

音楽堂クリスマス音楽会2021 関連企画 合唱講座「メサイアの魅力」 2021年12月10日

子どもと大人の音楽堂<大人編> 音楽堂のピクニック 2022年3月19日

子どもと大人の音楽堂<大人編> 音楽堂のピクニック 関連企画 音のインсталレーション体験展示 2022年3月18,19日

神奈川県立音楽堂

〈人材育成事業〉

音楽堂室内オペラ・プロジェクト第4弾 ブルーノ・ジネール作曲 オペラ『シャルリー〜茶色の朝』関連企画
「室内オペラ制作・広報インターン」 2021年9月26日～11月14日

〈音楽堂アウトリーチ〉

「音楽堂アウトリーチ」 県内の小学校5校にて実施

「先生のためのアウトリーチ」 映像プログラムをオンライン配信

2021年度の事業を振り返って

神奈川県立音楽堂 館長 伊藤由貴子

2021年度は、2020年度に引き続きコロナ禍の影響を受け、特に海外アーティストの来日に多くの困難がありました。クラシック音楽の醍醐味を伝える「音楽堂ヘリテージ・コンサート」では、全7公演中、主催2公演共催2公演が中止となりました。

その一方で、二つの招聘公演を実現させることができたことは、本当に幸いでした。

一つは、サントリーホールと共同招聘を行った世界随一の現代音楽集団、アンサンブル・アンテルコンタンポラン。いま一つは、「音楽堂室内オペラ・プロジェクト第4弾 シャルリー〜茶色の朝」。特に後者は、気鋭の作曲家ブルーノ・ジネールによるオペラ作品の日本初演で、フランスから8名の出演者やスタッフを直接招聘。独裁化する社会に警鐘を鳴らす寓話を土台にした本作は、関連する室内楽、日本の美術作家や評論家と作曲家がオンラインで対話するトークを交えた構成により、作品の意義を立体的に掘り下げ、WEB批評サイト「メルキュール・デザール」で年間企画賞1位を獲得。お客様はもちろん、評論家の方々からも高い評価をいただきました。

新たな取り組みもスタートいたしました。新企画「子どもと大人の音楽堂」は、若い世代、社会に向け、新しい音楽や他ジャンルの芸術とのコラボレーション

も含めた発信を行うもので、夏休みの〈子ども編〉では、大友良英スペシャルビッグバンドによる年齢制限なしのコンサートを、3月の〈大人編〉では、小金沢健人らのディレクションにより様々なアーティストが音楽堂全体を使ってパフォーマンスする「音楽堂のピクニック」を開催。日ごろ音楽堂にいらっしやらない新しいお客様と出会える企画となりました。

もう一つの新シリーズ「新しい視点」〈紅葉坂プロジェクト〉は、若手アーティスト中心に自由な発想での企画を公募し、審査の上3企画を採択して翌年の本公演で披露するというもの。2月に開催したモニター観客と交流するワーク・イン・プログレスでは、次世代の枠にはまらぬ表現に、期待が膨らみました。

アウトリーチ事業は県域を視野に、従来の子どもたち向けの授業から、新機軸「先生のためのアウトリーチ」という取り組みに着手。その第一弾、箏奏者の丸田美紀による教員対象企画を準備しましたが、コロナの影響で動画作成に切り替えることとなりました。

音楽堂は昨夏、県立図書館と共に「神奈川県指定重要文化財」建造物に指定されました。これまで音楽文化の歴史を刻んできたこの施設を大切に活かしながら、その価値を未来に引き継いでいけるよう、今後も取り組んで参ります。

社会連携ポータル事業が始まりました！

■社会連携ポータル部門について

2021年4月、「感動を分かち合う」「未来につながる」の財団ミッションのもと、社会と芸術をつなぐ窓口＝ポータルとして、新たに「社会連携ポータル」部門を立ち上げました。

芸術文化を、より多くの方に、そしてこれからももっと楽しんでいただきたいという思いから、“4つのアプローチ”と“共生共創事業”（神奈川県受託事業）の2つの事業で、文化施設にとどまることなく神奈川県内の様々な場所で、社会と芸術文化の新しい関係を築く活動を行っています。

■4つのアプローチ

1. 芸術文化を担う人材を育てる 専門人材育成プログラム

3館の特性を活用し、舞台芸術分野で仕事に就くことを考える学生に向けて、オペラ・音楽公演制作・演劇公演制作・舞台技術部門から選ぶことができるインターンシッププログラムを提供しています。すでに芸術文化の仕事に就いている人向けには、スキルアップのための講座を実施しています。

2. 子どもたちと芸術文化をつなぐ 学校教育へのアプローチ

プロの芸術家とともに神奈川県域の学校でアウトリーチ授業を行っています。芸術に触れるだけでなく、子どもたちひとりひとりが作ることを楽しみ、友達の表現に耳を傾ける体験ができる授業を届けています。



小学校への打楽器アウトリーチ

3. 多くの方々と感動を分かち合うための インクルーシブアプローチ

舞台のセリフを字幕で提供するタブレット型やメガネ型の字幕機、手話通訳、点字パンフレット、指先で絵の輪郭をたどることができる触る絵などの鑑賞サポートを提供しています。これらを積み重ね、芸術文化がどなたの心にも届くよう取り組んでいます。



字幕提供機による鑑賞サポート

触る絵による鑑賞サポート

4. 多くの方々と芸術文化でつながる 地域との連携づくり

県内の文化施設と連携し、親子で楽しむことができるオペラやコンサート、地域のエピソードを盛り込んだ演劇公演の神奈川県内巡回公演を行っています。今後は、巡回公演でも鑑賞サポートを実施し、住んでいるまちでだれもが公演を楽しんでいただけることに取り組んでいきます。

■共生共創事業

2018年度から、神奈川県「ともに生きる ともに創る」を目標とした共生共創事業を受託し、企画製作を行っています。神奈川県域の各地域で、文化芸術活動に取り組む人、新しく始めたい人など、年齢や障がいにかかわらず、子どもから大人までだれもが参加し、楽しむことをめざした事業です。舞台や文化施設の中だけにとどまらない、新しい芸術表現を作り出しています。

賛助会員

【法人賛助会員】

株式会社アクトエンジニアリング
アズビル株式会社
学校法人岩崎学園
株式会社ヴォートル
株式会社エス・シー・アライアンス
株式会社NHKアート
株式会社勝烈庵
一般財団法人神奈川県教育福祉振興会
株式会社神奈川孔文社
株式会社神奈川保健事業社
神谷コーポレーション株式会社
川本工業株式会社
株式会社共栄社
株式会社 KSP
株式会社合同通信
株式会社シグマコミュニケーションズ
株式会社ジェイコム湘南・神奈川
株式会社清光社
株式会社 Central Medience
月島機械株式会社
株式会社テレビ神奈川

東工株式会社
株式会社日建設計
日成工事株式会社
日生商工株式会社
日総ブレイン株式会社
日本発条株式会社
株式会社野毛印刷社
パナソニックLSエンジニアリング株式会社
Piascore 株式会社
平安堂薬局
株式会社ホテル、ニューグランド
一般社団法人本牧関連産業振興協会
丸茂電機株式会社
三沢電機株式会社
森平舞台機構株式会社
ヤマハサウンドシステム株式会社
株式会社有隣堂
株式会社豊商会
株式会社ユニコーン
株式会社横浜アーチスト
横浜信用金庫
弁護士法人横浜パートナー法律事務所

横浜ビルシステム株式会社
株式会社ワイイーシーソリューションズ
匿名:3社

【永年個人賛助会員】

川村恒明

【個人賛助会員】

味田健一
小川浩
黒瀬博晴
小山明枝
佐々木順子
鈴木真由美
高岡俊之
高野伊久男
中澤守正
橋本尚子
三澤孝至
三澤光代
匿名:4名

協賛・協力

【能舞台協賛】

ナイス株式会社

【個別協賛】

アクセンチュア 芸術部 / Accenture Art Salon
株式会社ジンズホールディングス
日本化工機材株式会社
ユカ・ツルノ・ギャラリー
匿名:2者

【協力】

株式会社崎陽軒
寺田倉庫株式会社
TERRADA ART ASSIST 株式会社

【一般寄付金】

匿名:2名

【オンライン小口寄付】

高橋英里
匿名:2名

ご寄付のお願い

神奈川芸術文化財団は、芸術文化の力で、地域に生きる人々の心を豊かにし、幸福な社会の実現に貢献します。
広く皆さまのご支援・お力添えを賜りますよう、どうぞよろしく願い申し上げます。

賛助会員

【法人】法人賛助会員 一口・年間:10万円
特別賛助会員 一口・年間:100万円

【個人】個人賛助会員 一口・年間:3万円
永年個人賛助会員 (満65歳以上) 一口:30万円

その他、当財団が主催する個別の事業へのご寄付もお受けしております。
詳細はお問い合わせください。

※当財団への寄付は税制上の優遇措置がございます。

主な特典

- 当財団のウェブサイト、情報誌「神奈川芸術プレス」にご芳名を掲載します。
- 選定した主催公演にご招待します。
- 限定イベントをご案内します。
- 当財団の情報誌「神奈川芸術プレス」(年2回発行)をお送りします。
- 最新のチケット情報をお届けします。

問い合わせ・資料請求

公益財団法人神奈川芸術文化財団 経営企画課 寄付・賛助会員担当 〒231-0023 横浜市中区山下町3-1 神奈川県民ホール内
TEL:045-633-3760 (9:00~17:00/土・日・祝日・年末年始を除く) メール:shien@kanagawa-af.org

